



プロセスガス中の高濃度CO分析

プロセスガス中のCO連続測定により、カーボンニュートラルへ貢献いたします。

プロセスガス(途中工程ガス)の高濃度COをその場で連続分析

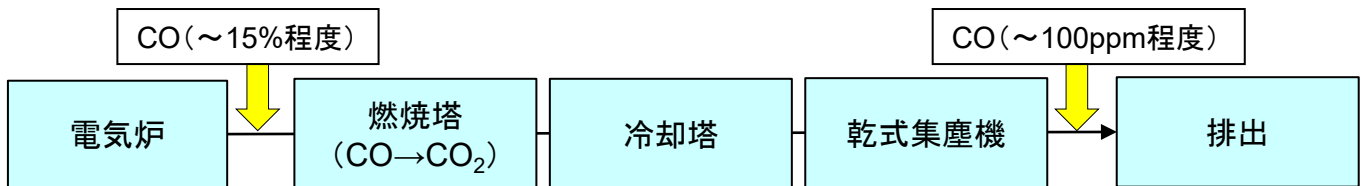
現在、焼却施設におけるダイオキシン類(以下、DXN類)発生抑制のための燃焼に係る維持管理指標として、煙突から排出される排ガス中の低濃度一酸化炭素(以下、CO)が測定の主対象となっています。一方、金属リサイクルプロセスにおけるDXN類分解工程の適正化のために、プロセスガス中の高濃度COの実態モニタリングの需要が高まっています。また、昨今のカーボンニュートラル実現に向けた取り組みとして、CO₂から化学製品や燃料の原料となるCOを製造する技術が開発されていることから、高濃度COの測定ニーズはますます高まっています。

当社ではプロセスガスにおける高濃度CO(5,000ppm~)を現場で連続測定することによって、その発生量を経時的・定量的にご報告できます。

電気炉や焼却炉等、様々なプラントでの計測で培った計測技術を活かして、確実な安全対策を実施の上、上流部の高温ガス(1,000℃以上)の測定にも対応いたします。

高濃度CO測定の意義

- CO有効活用のための濃度把握(燃料や還元剤, 化学製品の原料など)
- 金属リサイクルプロセスでのDXN類発生の抑制強化



製鋼用電気炉のプロセス

高濃度CO測定要領

- ・ 使用機器: 高濃度CO計
- ・ 測定原理: 非分散赤外線吸収法
- ・ 測定範囲: 0 ~ 15 vol.% (定常)
(15vol.%以上の場合はご相談ください)
- ・ 測定ピッチ: 1s~
- ・ 同時測定可能項目
排ガス温度、O₂、CO₂等
- ・ DXN類やばい煙の測定も承ります



現地計測の様子

※ 全国各地のあらゆる工場へ測定にお伺いいたします

※ 測定成分に合わせたプローブや治具の作製も承ります



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2023 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。